

タイトル『ゴージャスお宝鑑定家』

「うーん、ゴージャス！」『第8話

シーン：剛田質店の店内（約8分）

（豪華な内装の剛田質店。剛田が鏡の前でポーズを取っている。手を顔の前で軽く広げ、優雅に微笑む。）

剛田：（鏡を見ながら）「うーん、今日も完璧だ。ゴージャス！」

（鏡の前でさっとポーズを決め、満足そうに微笑む。）

白金：（掃除をしながら、少し困った顔で）

「またですか…剛田さん、ほんとうに鏡の前が好きですね。」

剛田：（鏡から目を離さずに）「鏡よ鏡、今日も美しい。いや、美しいのは私だけではない、こ

の店もだ。」

白金…（ため息）「またそのセリフですわね…」

（剛田が突然、自分を振り返り、白金に向かって語りかける。）

剛田…「白金、この店はただの店ではない。」

白金…「ええ、それは分かっています。すごくゴージャスな内装ですからね。」

剛田…「この店の空気、香り、すべてがゴージャスなのだ。」

白金…「でも、空気や香りって…どうゴージャスなんですか？」

剛田…（優雅に両手を広げる）「ゴージャスなものは、見た目や触れる感覚だけではない。

空気が、香りが、そして私の優雅な所作までもがゴージャスであることが大切なのだ！」

白金…（小声で）「でも…本当にそれが大事なのかな…」

（店のドアが開き、お客様が大きな箱を持って入店。）

シーン②：お宝が到着（約10分）

（お客様が箱をカウンターに置き、白金が笑顔で迎える。）

白金：「ようこそ、剛田質店へ！今日はどんなお品物をお持ちですか？」

お客様：「実は、家の倉庫から出てきたんです。これ、どうしても鑑定して欲しくて…」

（箱を開けると、中からルビー製ティーセットが現れる。）

白金：（目を見開いて驚き）「わあ…これは、すごいですね！」

剛田：（ゆっくりと歩み寄り、目を輝かせる）

「ふむ…これは…ゴージャスだ！」

白金：（震えながら）「こ、これは…一体どれ

ほどの価値があるのでしょいか…?」

剛田：「その質問がゴージャスな質問だ。」

白金：（心の中で）「やっぱり、こっきたか…」

（お客様が少し不安そうに話す。）

お客様：「でも、どうしても値段が気になるんです。これ、いくらぐらいになるんでしょうか？」

剛田：「値段、値段…ゴージャスな品物には、ゴージャスな値段がつくのだ。」

白金：（目を細めて）「そ、それは分かりますが…ちよつとその値段が…」

（剛田が少し笑いながら、また手を広げる。）

剛田：「白金、このルビーという宝石、ただの宝石ではない。」

白金：「はい？」

剛田：（少し誇らしげに）「ルビーには、石言葉というものがある。」

白金：「石言葉？」

剛田…「そう、石言葉だ！」

（白金が困惑しながらも耳を傾ける。）

シーン③：石言葉の熱弁（約12分）

（剛田が興奮気味に、白金に向かって熱く語り始める。）

剛田…「ルビーの石言葉、それは…情熱、勇氣、愛情だ！」

白金…（少し困惑して）「情熱、勇氣、愛情…ですか？」

剛田…（顔を輝かせて）「ルビーを持つ者は、常に情熱に満ち、勇氣を持って生きる。愛情を深く、誰かに注ぐのだ！」

白金…「本当に、そんな効果が…？」

剛田…「それがゴージャスな力だ！」

白金…（少しずつ納得していく）「でも、実際にその力を実感するには、どうすればいいんでしょうか？」

剛田：「それは、使ってみればわかる！」

（白金がティーセットをじっと見つめ、考え込む。）

白金：「でも、実際に使ったら、情熱や勇氣が湧いてくるんですか？」

剛田：（にこやかに）「その通りだ。使えば心の中に情熱が灯り、勇氣が湧き、愛情が深まる。」

白金：（少し疑いながら）「本当に…？」

剛田：「使ってみるこそが、ゴージャスの真髓だ！」

（白金がしばらく悩んだ後、ティーセットを手取る。）

シーン4：実際に使ってみる（約15分）

（剛田がティーセットを慎重にセットし、白金にお茶を注ぐ。）

剛田…「飲んでみる、白金。これがルビーの力だ。」

白金…「え、あ、まあ少しだけなら…」

（白金が恐る恐るカップを手に取る。）

白金…（お茶を一口飲んで）「え、なんだか…
すごく美味しい…！」

剛田…（うれしそうに微笑んで）「それがゴー
ジャスな効果だ。」

白金…「ほんとうに…お茶がこんなに深い味わ
いになるなんて…！」

剛田…「そうだ。ゴージャスなものは、見た目
や表面だけではない。」

（白金がじっとお茶を見つめる。）

白金…「これ、なんだか気分が落ち着きます
…」

剛田…「それも、ルビーの力だ。あなたの心が
穏やかになり、情熱と勇気が湧いてくる。」

（白金が考え込んでいると、剛田がさらに語
りかける。）

剛田：「そして、愛情が深まる。使うたびに、心が豊かになる。」

白金：（少し驚きながら）「本当に…？」

（白金が再びティーセットを手に取る。）

シーン5：白金の疑問と剛田の熱弁（約12分）

（白金が考えながら再び話し始める。）

白金：「でも、これってただのティーセットですよね…？」

剛田：（微笑みながら）「白金、目に見えるものだけがすべてではないのだ。」

白金：「目に見えない力って、どこから来るんですか？」

剛田：「ルビーの力は、古代から伝わるものだ。」

（白金が少しずつその話に引き込まれていく。）

白金：「古代から…じゃあ、このティーセットには、どんな歴史が込められているんでしょうか？」

剛田：「目を輝かせて」「このティーセットは、古代の王族が使っていたものだと言われている。彼らは、このセットを使うことで、心を強くし、戦いに挑む勇気を与えてもらったのだ。」

白金：「すごい…！それが、ゴージャスな力なんですわ…！」

剛田：「その通りだ。」

（白金がしばらくティーセットを見つめる。）

シーンの9：価格の決定と商談成立（約10分）

（最終的にお客様に向かって、価格を提示するシーン。）

剛田：「このゴージャスな品物には、300万円
でどうだろうか？」

白金：「え、300万！？それは…ちよつと高すぎ
ませんか…？」

（お客様が少し驚く。）

お客様：「うーん、確かにゴージャスですね…。
でも、ちよつと悩みます。」

白金：（内心で焦りながら）「本当に成立す
るんでしょうか…」

剛田：（微笑んで）「ゴージャスなものにはゴ
ージャスな値段がつくのだ。」

（お客様がしばらく考えてから、最終的に承
諾する。）

お客様：「…よし、決めました！300万でお願
いします！」

白金：（驚きながら）「本当に！？決まりま
したか…！」

（取引成立。二人でお客様を見送り、ほつと
する。）

シーン7:エピソード(約8分)

(商談後、白金と剛田がティーセットを見つめながら話す。)

白金:「やっと、ゴージャスって何なのか分かってきました…」

剛田:「その通りだ、白金。ゴージャスな品物は、見た目だけではない。その背後にある力を感ずるのだ。」

白金:「ティーセットにも、歴史や物語が込められているんですね…」

剛田:「そして、それが私たちを強く、美しくしてくれる。」

白金:「ゴージャス…!」

(しばらく沈黙の後、二人が微笑み合う。)

終わり

合計時間配分

1. シーン1(剛田質店の店内) : 8分
2. シーン2(お宝が到着) : 10分
3. シーン3(石言葉の熱弁) : 12分
4. シーン4(実際に使ってみる) : 15分
5. シーン5(白金の疑問と剛田の熱弁) :
12分
6. シーン6(価格の決定と商談成立) : 10
分
7. シーン7(エピローグ) : 8分

合計 : 85分